

## 競技の条件およびローカルルール

### 競技の条件

#### 1. ゴルフ規則

2019年日本ゴルフ協会ゴルフ規則およびGridgeCupの競技の条件・ローカルルールを適用する。

[http://www.jga.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/Rules\\_WEB.pdf](http://www.jga.or.jp/wp-content/uploads/2019/02/Rules_WEB.pdf)

なお、この規則の適用にあたって一部に変更もしくは追加のある時は、マスター室付近および大会ホームページに掲示して告知し、競技委員会からその旨スタート前に告知する。

この競技の条件の違反の罰は、ゴルフ規則で別に定められている場合を除き、2罰打とする。

#### 2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

#### 3. 適合ドライバー・ヘッドリスト

プレーヤーが持ち運ぶドライバーはR&Aによって発行される最新の適合ドライバー・ヘッドリスト(モデルとロフトで識別される)上に掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。

[http://www.jga.or.jp/?page\\_id=1342](http://www.jga.or.jp/?page_id=1342) 参照

#### 4. 使用球の規格

プレーヤーの使用球はR&A発行の最新の公認球リストに記載されているものでなければならない。  
この競技の条件の違反の罰は、競技失格とする。

<https://www.randa.org/RulesEquipment/Equipment/What-we-do/Conforming-Clubs-and-Balls/Conforming-Ball-List> 参照

#### 5. 電子機器(レーザー式距離測定器、コースナビゲーション)

プレーヤーは残りの距離やホールのレイアウトを確認する目的で、電子機器を使用することができる。  
高低差を加味した加減算距離の計測も認めるものとする。

これにより得た情報の交換はアドバイスとならない。また、これを用い、操作するためにプレーを不当に遅延させてはならない。

不当な遅延による罰は (7. 不当の遅延)を適用とする。

※水平測量機能を使用する目的で機器をコース上へ置くこと、またはストロークの補助となるような使用は禁止とする。この競技の条件の違反の罰は、1回目は1罰打、2回目は競技失格とする。

#### 6. スタート時間

プレーヤーが自分のスタート時間から5分を超えた遅刻の罰は、競技失格となる。プレーヤーがスタート時間から遅れて5分以内にスタートした場合は1ホール目に2罰打を科す。競技失格の罰を免除する正当な事情と競技委員で判断した場合は、この限りではない。

#### 7. 不当の遅延

プレーヤーは不当に遅れることなく、委員会がプレーのペースについてのガイドラインを決めているときはそれに従ってプレーしなければならない。前の組と著しく間隔が空いた場合、競技委員によりプレーのペースを速めるよう警告をする。

1回目の警告1罰打、2回目の警告2罰打、3回目の警告競技失格とする。

また、ハーフ終了時に前組より1ホール以上空けて前半9ホールを終了した組は、休憩時間や昼食時間を短縮するものとする。正当な理由がなく前組より2ホール以上空けた場合は競技失格とする。

#### 8. プレーの中止・プレーの再開

険悪な気象状況によりプレーの中止を委員会が決定した場合においては、プレーヤーはすぐにプレーを中止しなければならない。

険悪な気象状況のためにプレーが中断となっている場合、競技委員会から許可があるまでは全ての練習場(指定練習パッティンググリーンを含む)をクローズとする。

#### 9. サイレン設置のコースにおけるプレーの中止と再開の合図について

- (i) 険悪な気象状況のための即時プレー中断→1回の長いサイレン
- (ii) 通常のプレーの中止→3回の連続するサイレンを繰り返す
- (iii) プレーの再開→2回の短い間隔のサイレンを繰り返す

※サイレンの設置のないコースなど、開催コースにより中断、再開の合図は異なることがあるため、険悪な状況時にはコース、競技委員からの案内に注意すること。

10. 練習

競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならない。これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールで2罰打を加えなければならない。ただし、そのラウンドの最終ホールのときは、競技者はそのホールで罰を受ける。また、ハーフターン待ち時間の「指定練習グリーン」におけるパッティング練習は認める。

11. 移動

乗用カートを使用のコースのみ、乗用カートの乗車及び運転を認める。

12. 順位の決定方法

順位決定方法は、18番ホールからのカウントバック方式により順位を決定する。

13. 競技終了

全ラウンドを終了し、競技委員会が公式スコア集計用紙に記入された内容に間違いがないことを確認(アテスト)し、GridgeCupサイト成績表上で承認公表した時点で競技終了とする。

14. 大会不成立時の順位決定について

日没、または荒天のため、全組がホールアウトできず、なおかつ全組が9ホール以上消化した場合は、前半ハーフのスコアにより、OUTスタート組、INスタート組に分けて順位を決定する。スコアがタイの場合は、OUTスタート組は9番ホール、INスタート組は18番ホールからのカウントバック方式により決定する。

## ローカルルール

1. アウトオブバウンズ Out of Bounds

アウトオブバウンズの境界は白杭または白線をもって標示する。また開催コースが定める境界を適用するものとする。

注：杭および線の両方により標示されている場合は、線がその境界を示す。

インプレーのボールが上記境界線を越えアウトオブバウンズとなった場合、ゴルフ規則に則った処置のほか、ボールが境界線を越えたと思われる付近を基点とし、その場所から2クラブルーンgs以内のホールに近づかないジェネラルエリア内にドロップし、2罰打を加えてプレーを再開できる。

また、ティーショットにてアウトオブバウンズとなった場合、当該ホールに特設ティー(プレイングフォーなど)が設置されている場合は、使用コースのローカルルールに則って特設ティーからのプレー再開とする。

2. 紛失球 Lost balls

インプレーのボールが見つからず紛失球となった場合、ゴルフ規則に則った処置のほか、ボールを紛失したと思われる付近を基点とし、その場所から2クラブルーンgs以内のホールに近づかないジェネラルエリア内にドロップし、2罰打を加えてプレーを再開できる。

### 【注意事項】

- 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、マスター室付近および大会ホームページに掲示して告知する。
- 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱(コイン)を限度とする。
- グリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
- 開催コースドレスコード等、その他マナーエチケットを守れない場合、退場および競技失格とする。

以上